

# 会員だより

## 【友への手紙】

こんにちは。あなたからお話のあった曾野綾子さんの本、お送りします。私が先に読ませてもらいました。

実を言うと、あなたからこの本のお話があったとき、とても嬉しかった。それはあなたがこういう本に興味を持っておられるとわかったからです。

私がいつも治療してもらっている先生が人間はなにに付けても興味を持たなくなつたらいけない。

いつも知ろうとする好奇心を持たないと駄目だと言われます。



だから今あなたがい  
ろいろの体の  
悩みを  
持つて  
いるの

に、新聞の広告を見て、読んで見たいと思われたことがとても、嬉しかったのです。冊子を買いましたから、一冊ずつ読んだら送ります。そして読んだら感想を聞か

せてください。私が1冊だけ読んだところでは、とても耳の痛いことが書いてあります。

それをあなたがどう感じられるかとても知りたいと思います。

私は数年前からパソコンをやっています。

もう先が知れているので、やりたいけれど諦めていたのですが、下の弟が定年になつた記念とでも言うのでしょうか、一式買ってくれたのです。



このお便りもパソコンで書いています。

それでいまインターネットやら、メールやら、ゲームなどに嵌っています。

このお便りもパソコンで書いています。パソコンなら座っていて出来るし、やってみませんか？では感想、楽しみにしています。と言ってもあまり負担に思わないでください。ではまたね

記 牧戸 富美子

## 四国88か所 巡礼を終えて

平成28年2月16日、逆打ち四国88ヶ所一番霊山寺(りょうぜんじ)で結願となりました。

スタートしたのが去年の4月18日88番大窪寺(おおくぼじ)から日帰りや1泊



山に抱かれるように立つ 88番札所の大窪寺

2泊の計11回のバスツアーで、予定通り全う出来たのは同行する友達や主人をはじめ周辺の家族と私自身が健康であつたお蔭と思えます。

本来ならお大師様と同行二人のお蔭と言いたいところですが、まだ修行が足りないのかそう軽々しく言えません。それでも最後の大窪寺で90才前後かと思われる上品な尼僧からその道中を労って下さり、柔らかい手で背中を撫でて頂いた時は友達ともども涙してしまいました。その達成感の感激がいつかも

う1度回ってみようという気持ちが起こるのでしようか、ツアー仲間には4回5回という人の多いのにつくりしました。中には高槻の70代後半のご夫婦は100回を超える人に許される錦織の納め札を持参しておられました。その方から巡礼の経験を知っている、気易くサインをした錦札を下さつたので、帰って早速アルバムに張りました。



1番札所霊山寺 境内の池に浮かぶ稚児

真言と般若心 数珠を持ち、経を繰り返してきましたが、最後までそのしきたり

り合えたのが弘法大師であつたと言ふ伝説をツアーの間何度も聞かされました。その後そのご夫婦にお会いすることはなく、今思えば私にとつてご夫婦は現代のお大師様のようなのです。巡礼中、線香、ろうそく、納め札、お賽銭お数珠、お



1年間の経験が充実したものであつたので、今となつて何となく寂しい気持ちです。何度も唱えた願わくは、この功德を以つて、あまねく一切に及ぼし我らと皆ともに、仏道を成ぜん」と実感するのはいつの事でしょう。

記・写真：上村 サト子

## コブシ【桜糞】

3月の下旬になれば」街路樹や公園などで見られる身近な春の花。枝という枝一杯に花がついて、思わず見とれてしまいます。この写真は高槻北部の桜公園の登り口で撮ったもの。果実がにぎりこぶし状でデコボコしている事からこの名がついたらしい。花は純白で、基部が薄桃色を帯び、花弁は6枚。枝を折ると芳香がするというが、折ったことはない。花は香水、樹皮はお茶の代用や風邪薬に、花蕾は鼻炎に、またコブシの花の咲き具合で農作業の指標にされてきた人間の生活に密着した樹木だった。「北国の春」“白樺 青空 南風 ころし咲くあの丘・・・”の方が親しいかな。ハクモクレンの花と区別が付けにくい、大きな違いは、コブシは花びらが6枚、厚みが薄い、ハクモクレンは9枚、厚ぼったい。ともに薄ピンクもある。写真の濃紫はモクレン、桜公園下の民家に見事なモクレンがあります。

記・写真：上村サト子



モクレン



こぶし